

## 【面接官の印象】

### 1. 外国人面接官の印象

まじめそうな印象の男性で、アクセントから英国人と思われる。こちらの話すことに頷きながらメモをとって、時々笑みを浮かべていた。

### 2. 通訳ガイド

64～5歳と思われるスーツ姿の男性でベテラン通訳ガイドの方と見受けられた。この方は笑みを浮かべることは一度もなかった。

### 3. 通訳試験について

《出題された日本文》

昔から大阪は交易の中心地で大勢の人が集まる場所だった。瀬戸内海からの海上輸送、内陸からはいくつもの川が合流する河川輸送で経済も繁栄した。

《自分の解答》

Historically the city of Osaka has been the centre of trade and many people gathered to engage in commerce. With the maritime freight routes from the Seto inland sea and the river transportation routes from the land where several rivers merge, the economy of Osaka flourished.

### 4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 漆器
- ② 自動改札機
- ③ は失念。

《選択したトピック》

『自動改札機』

《発表した内容》

従来電車の改札は駅員によって切符にハサミを入れる形で行われていたが、人件費の高騰等で改札口を自動化し効率化を図った。自動改札機導入に伴い、チャージが可能な電子カード式の機械に徐々に変更され、JRはスイカ、私鉄はパスモというカードを発表し、定期としても使えるようになった。自動改札機は利用者の利便性だけでなく、コンピューターによる電車の利用客数等の統計データを解析することができるので、事業の収益性なども検証できる。

## 5. 質疑応答について

NS	昔は人が切符を確認していたとのことだが、定期などはどうしたのか？
I	電子化されていない時代は駅員に定期を掲げながら改札を通った。
NS	東京で一番乗降客が多い駅はどこか？
I	新幹線、在来線、地下鉄等々多くの路線が集まっているという点で東京駅と思われる。（後で調べたら新宿駅でした…）
NS	このチャージカードで新幹線は乗れるのか？
I	乗車券、特急券など何種類かの切符があるので例えばスイカだけでは新幹線には乗れない。
NS	コンピューターで統計を取るとのことだが、何のためにそういうデータを取るのか？
I	性別、年齢までは分からないが、少なくとも乗降客数のデータは取れるので、その「人数」と「実際の売上」をリンクさせて分析することで、事業収益性を検証することができる。また、事業者はその結果を踏まえて、容易に今後のサービス向上に役立てることが可能となった。

## 6. 試験を終えての感想

試験そのものはあっという間に終わったという感じだが、全員が終了するまで控室から出れない、私語も禁止という缶詰状態だったのが一番こたえた。試験中は途切れることなくじゃべり続けること、統計データや年号など多少間違っても「一生懸命相手に伝えようとする」「熱意を示す」、「分からないとは絶対言わない」、に注意を払いながらプレゼンした。日本人面接官が終始仏頂面（？）だったのが気になる。